

心に残る文化財子供塾 松江市立生馬小学校

1. 活動の概要

7月5日(金)、松江市立生馬小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。体験活動に「大仏パネル」を希望されていたので、はじめに大仏が造られた時代などについて県古代文化センターの職員からの質問に対して、生徒は授業で習ったことを思い出しながら答えていきました。

次に、松江市内で出土した奈良時代の土器(須恵器)について実物を見ながら説明を受け、実際に手にとってその重さや感触を確かめました。

後半は、実物大の大仏パネルを組み立てました。最初に説明を受けた後に、協力して組み立て作業を行い、気温の高い体育館の中での体験でしたが、大仏は予定どおり25分程で完成し、記念撮影をしました。そして、大仏に関して疑問等の質問を受け付けて、より大仏のことを学習しました。

最後に、協力し合って片付けを行い、6年生全員で順序良く片づけることができました。

2. 活動の様子

1)大仏が造られた時代を知る



授業で習った奈良時代のことを思い出します。



奈良時代の人が使っていた土器を学習します

2)奈良時代の須恵器を触ってみる



土器の重さを確かめます



土器の感触を確かめます

3)大仏パネル体験で大きさを実感する



事前到大仏パネルの並べ方を聞きます



保護者の方も一緒に皆で記念撮影します

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

■一番心に残ったこと

- ・大仏の大きさを知れたこと。(8)
- ・みんなで協力して大仏が作れたこと。(6)
- ・奈良時代の土器に触れたこと。土器は結構重い。(4)

■他に知りたいこと、体験してみたいこと

- ・土器を作りたい、へんな形の土器を見たい。(3)
- ・鎌倉の大仏を作りたい、今の技術で大仏を復元したい。昔の作り方で大仏を作りたい(3)
- ・実際に、奈良の大仏を見てみたい。(7)
- ・昔の食べ物を食べてみたい。 ・当時の人々(農民)の暮らしが知りたい。 ・風土記の丘にみんなで体験に行きたいです・

2)担任の先生から…

- ・ 体験を通して大仏の大きさを学べ、参観授業として実施したことで、保護者に活動の様子を見てもらった良かった。
- ・ 大仏パネルをメジャーで測ったり、寝て並んでみたりするとより大きさが実感できると思います。